

お客様目線で心遣い

独自の接客にリピーターも

「いらつしやいませ」。本土からの旅行者をお出迎え。地元の子供には方言で「おーりたぼーり」、若い人には「おーりとーり」。客によってあいさつを使い分ける心遣い。そして明るいです。

榎本弘さん(74)は平得に、とつて、きょう1日は12回目の入社記念日だ。

長距離の島内観光では、沖縄民謡も登場。「安里屋ユンタ」の歌詞をアレンジし、旅行者と一緒に車内で口ずさむ。車を止めて三線を生演奏することも。レパートリーは約10曲。こうした独自の接し方が奏を

タクシー乗務員 榎本 弘さん(74) 《石垣島タクシーコールセンター》

効し、本土からのリピーターも多い。

「天気にも恵まれないときに観光できる施設が限られていることに頭を悩ませるのも、お客様目線の榎本さんならでは、『行くところがない』と嘆く旅行者の姿を見ると気の毒に感じる。行政には悪天候でも楽しめる施設を計画してほしい」と要望する。

榎本さんは「大好きなゆんたく(おしゃべり)でお客様が笑ってくれるのが一番うれしい。そのおこぼれが私の健康の源になっている」と感謝する。

